

第 7 2 回幹事会議事要旨

日 時 平成 2 1 年 2 月 2 6 日 (木) 1 4 : 0 0 ~ 1 6 : 0 0

場 所 日本学術会議大会議室

出席者 (会 長) 金澤 一郎

(副会長) 大垣眞一郎、鈴木興太郎、唐木 英明

(第一部) 広渡 清吾、山本 眞鳥

(第二部) 北島 政樹、山本 正幸、鷺谷いづみ

(第三部) 岩澤 康裕、後藤 俊夫、池田 駿介、海部 宣男

(事務局長) 竹林 義久

(事務局次長) 綱木 雅敏

(課長等) 井上 卓、市川 高義、廣田 英樹、渡辺 泰司、原嶋 耐治

審議事項等

1 非公開審議事項について審議が行われた。

2 前回議事要旨の確認が行われた。

3 諸報告事項として次の報告があった。

(1) 2 月 4 日に日本学術会議に関する国会議員懇話会を開催したこと

(2) 共同利用・共同研究拠点申請に関するサポートレターを 4 施設に発出したこと

(3) サイエンスカフェ実施へのお誘いについて

4 審議事項について、審議が行われた。

(1) 会員のご逝去に伴う、補欠の会員候補者を推薦する部については第 2 部から推薦することとなった。

(2) 『知のタペストリー』シリーズの出版計画：報告と提案について科学と社会委員会の鈴木興太郎委員長から説明があり、審議の結果、承認された。また、4 月の総会では具体的な報告がされる予定。

(3) 日本学術会議協力学術研究団体の指定について承認された。

(4) G 8 学術会議への会員の派遣について承認された。

(5) 平成 2 3 年度開催国際会議の共同主催候補について承認された。

また、候補の選定方法等について意見が交わされ、国際委員会でも検討されることになった。

(6) シンポジウム等の主催、国内会議の後援について承認された。

5 その他事項として次のことについて話し合われた。

(1) 小委員会の委員について事務局から説明があり、今後、会員・連携会員以外の方を小委員会の委員に推薦する際に、特任連携会員としての推薦はしないこととなった

(2) 日本学術会議庁舎の耐震工事（平成 2 1 年 2 月～9 月末）について事務局から説明があった。